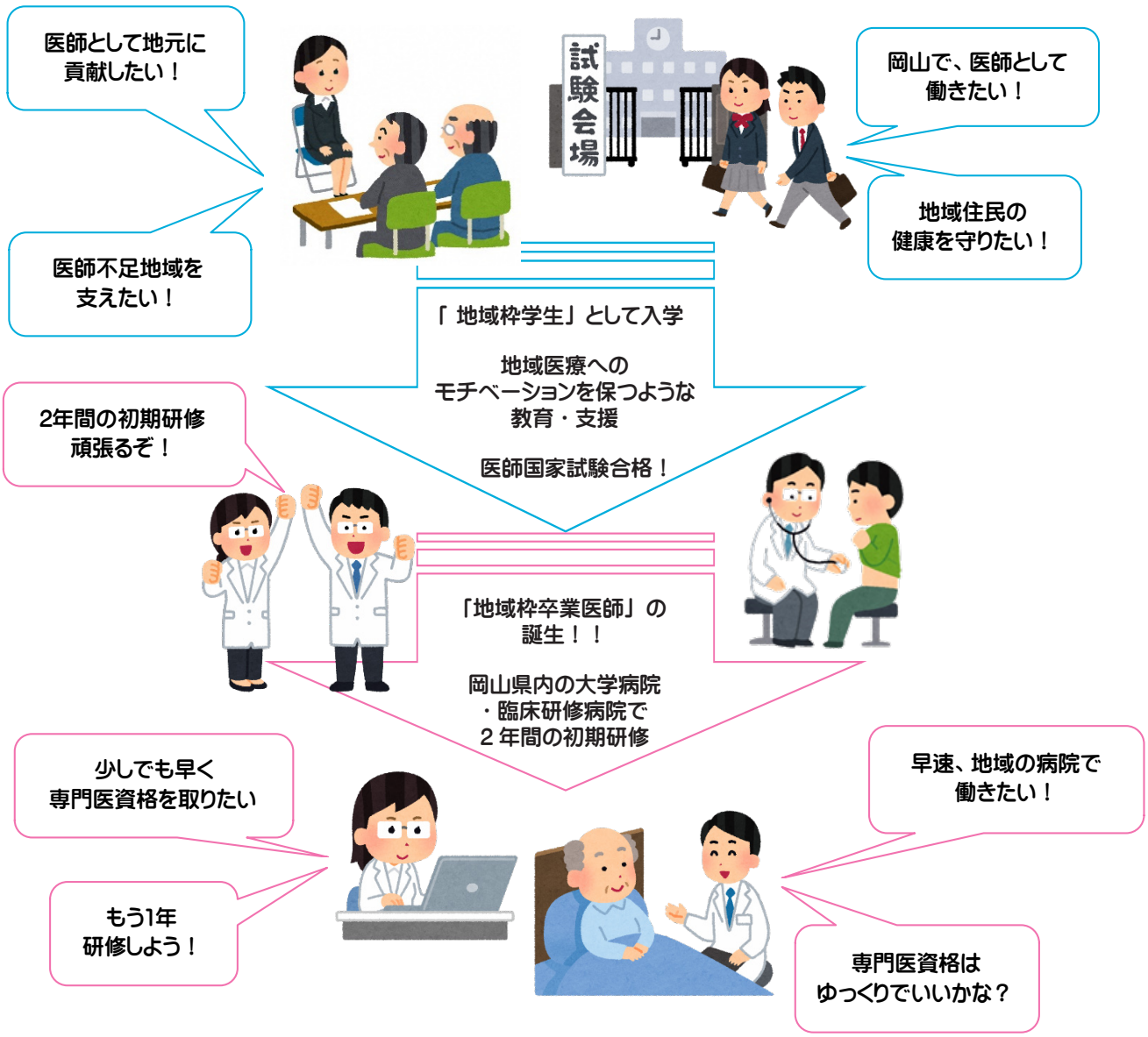
岡山県の地域医療を支える「地域枠」（医師）について

岡山県は、2009 年度から岡山大学・広島大学の医学部医学科において、岡山県の医師不足地域等の医療を支える「地域枠」の医師を養成しています。「地域枠」の学生には、返還免除条件※1 付きの奨学資金（20 万円／月）を貸与しています。2021 年 4 月 1 日時点で、在学生が 38 人、卒業生が 41 人います。なお、広島大学での募集は、2019 年度入学をもって終了しています。

（※ 1）貸与期間の 1.5 倍、岡山県知事が指定する県内の医療機関で医療業務に従事することで返還が免除されます。貸与期間が 6 年間の場合は、9 年間の義務年限となります。



地域枠卒業医師のキャリアプラン（例）

	卒後1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
A	初期臨床研修 2年		地域勤務（前期） 2年		選択研修 2年		地域勤務（後期） 3年		
B	2年		1年	2年		地域勤務（後期） 2年		地域勤務（後期2） 2年	
C	2年		1年	2年		1年	3年		
産婦人科専門医	2年		2年		2年		3年		

※ 上記の他、「義務の中断」による選択研修を最大2年間取得することが出来ます。

岡山県地域医療支援センター（2021. 08. 17 発行）

地域枠卒業医師が「地域勤務」する病院が決定するまでの流れについて
ー 翌年４月から「地域勤務」を開始する医師の場合 ー

「地域勤務」とは地域枠卒業医師が、義務年限中に岡山県内の医師不足地域等の医療機関で勤務することを言い、通算で５年以上勤務することになります。

４～５月
①「地域枠卒業医師の配置希望調査」
（対象：岡山県内病院　全 160 施設）

４～５月
②「地域医療に対する取組調査」
（対象：岡山県内　全 27 市町村）

５月～
「岡山県の医師不足」の調査
二次医療圏ごとの医師不足の状況を点数化する

地域枠の配置を希望する病院の評価
点数・順位決定（①＋② ==>100 点満点）

９月　病院
「配置希望」の再確認

９月　地域枠卒業医師
「地域勤務」の意思確認

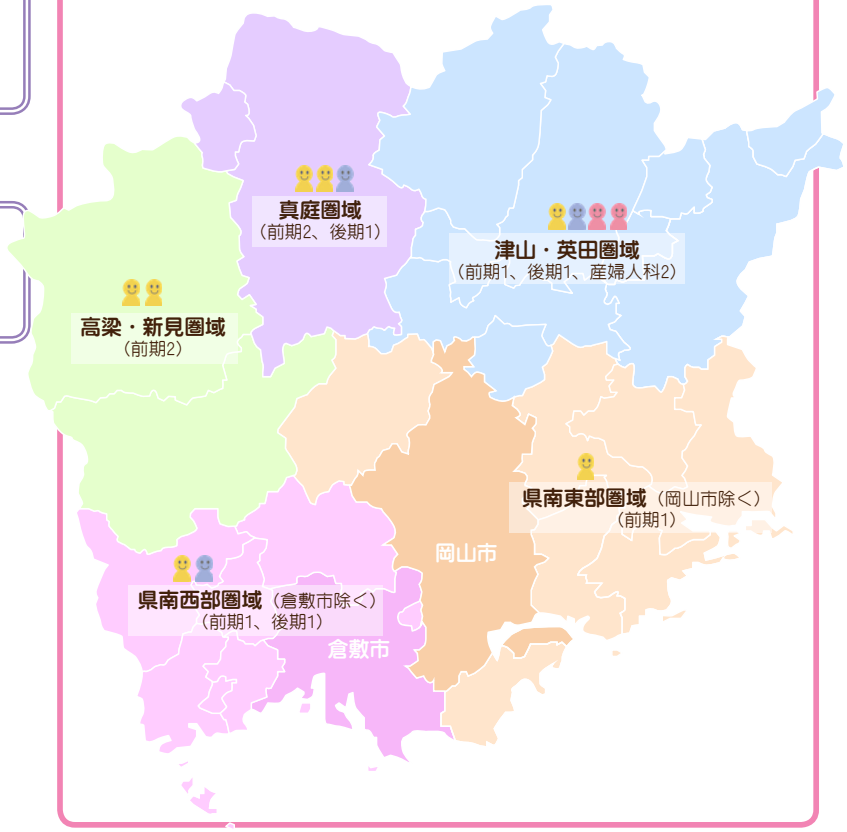
９月末　「地域勤務を開始する医師」の決定 ・「候補病院」（医師数の 1.5 倍程度）の決定

10 月～　「地域勤務を開始する医師」と「候補病院」とのマッチング

12 月　勤務先を決定
→　採用手続（～翌年２月末）

翌年４月　「地域勤務」を開始する

地域枠卒業医師の「地域勤務」の状況
（2021 年４月現在）



岡山県の地域医療を支える「地域枠」Q＆A

Q１：「地域枠」を受験するための資格・条件がありますか？

A：岡山県内の高等学校出身者と受験願書出願時に本人または保護者が岡山県内に居住している人が対象です。また、「地域枠」は岡山県内の医師不足地域等の医療を支える医師を養成することを目的とした「推薦入試枠」として設けられていますので、卒業後は県内で医療に従事する強い意思があり、県が貸与する奨学金を在学期間中に受給することに同意できる人が対象です。

Q２：「地域枠」と一般枠の医学生では、教育カリキュラムが異なるのですか？

A：例えば岡山大学の場合、地域枠・一般枠に関わらず地域医療実習等を行いますが、3年生までに一般枠は1週間、地域枠は4週間のカリキュラムが組まれています。早いうちに現場に触れ、理解し、学ぶべき知識と目指す方向を認識できるような取り組みを行っています。なお、実習には40以上の施設にご協力いただいています。
また、夏休みには、岡山大学・広島大学等の地域枠学生と自治医科大学生が集まる「合同セミナー」を実施し、体験型学習を行ったり、地域で働く医師、地域枠・自治医科大学卒業医師や自治体の首長にお会いして話を聞くなど、地域医療に取り組むことへの意識を仲間と共有し、モチベーションを高めるような取り組みを行っています。大学も学年も異なる仲間たちとの繋がりができる機会にもなります。

Q３：奨学資金の返還免除の条件は何ですか？

A：貸与期間の1.5倍、岡山県知事が指定する県内の医療機関で医療業務に従事することで返還が免除されます。貸与期間が6年間の場合、9年間の義務年限となります。

Q４：卒後はどのように働くのですか？　ーキャリア形成支援プログラムー

A：初期臨床研修（2年間）は、岡山県内の大学病院・基幹型臨床研修病院で行います。その後の7年間は、各自のキャリアプランに応じて、県内の医師不足地域の病院等での「地域勤務」と「選択研修」を組み合わせられますが、遅くとも卒後4年目までに「地域勤務」を開始することになります。7年間のうち2年間は県内の施設で専門医資格の取得や研鑽のための「選択研修」を行うことができます。
また、出産・育児・介護・病気等の事情により、義務の中断や勤務時間の調整等が必要になった場合には、ご本人と関係者が相談して、個々の事情に合わせて対応します。岡山大学病院が運営する「医療人キャリアセンターMUSCAT」の支援を受けることも可能です。

Q５：「地域勤務」は、どんな医療機関で行いますか？

A：岡山県が、9年間のキャリアの前半と後半、それぞれにふさわしい勤務先を候補病院として提示します。地域枠卒業医師と候補病院、双方の希望をうかがい、マッチングによって勤務先が決定します。
キャリア前半は、医師不足地域でありながら、教育指導体制も整っている施設、後半は、研鑽を積みながらも十分に力を発揮していただけるような医師不足地域の施設を候補としています。また、2022年4月からは病院の他に、公衆衛生医師としての勤務を希望する医師については、医師不足地域を管轄する県保健所等での勤務も選択可能になりました。将来的には診療所等を候補にすることも考えています。
候補病院は、毎年4月から5月に岡山県地域医療支援センターが行う「地域枠卒業医師の配置希望調査」で、配置を希望すると回答した病院の中から選ばれます。病院と自治体への調査結果、岡山県医療機能情報や厚生労働省等のデータを元に分析・評価を行い、圏域ごとに候補病院を決めています。

Q６：「選択研修」は、どんな医療機関で行いますか？

A：岡山県内の専門研修基幹施設やその他の岡山県知事が認めた施設で最長2年間行うことが出来ます。2年を超えて研修を行う場合は、さらに2年間の「義務の中断」が可能です。

岡山県地域医療支援センター（2021.08.17発行）

Ｑ７：「地域枠」のキャリア支援はどのように行われていますか？

Ａ：在学中の学業・進路に関する相談から卒後のキャリアプランまで、岡山県地域医療支援センターや岡山大学地域医療人材育成講座の医師等が個別の相談に応じています。また、専門研修プログラム責任者との調整も行っています。
また、毎年、岡山県内の地域医療に関わる医療機関や行政の方々が集まり、「地域医療を担う医師を地域で育てるためのワークショップ」を開催しています。地域医療の現場にとっても勤務する地域枠卒業医師にとってもより良い仕組みとなるよう、皆で知恵を出し合っています。

Ｑ８：専門医の資格を取る必要がありますか？

Ａ：専門医の資格取得は任意です。卒後３年目に「選択研修」を行う医師も、すぐに「地域勤務」を行う医師もいます。「地域勤務」では、現場のニーズに応じた医療を行うことになるので、必ずしも希望する診療科や取得した専門医資格と一致するわけではありません。

Ｑ９：義務年限中に専門医の資格を取ることが出来ますか？

Ａ：内科・総合診療科・救急科・小児科では、「地域勤務」をしながら、専攻医としての研鑽を積むことができるプログラムが用意されています。その他の専門医資格も「選択研修」と最大２年間の「義務の中断」を組み合わせて、取得することが可能です。なお、「地域勤務」中は週１日の研修日を設けるよう勤務先にお願いしています。

Ｑ１０：地域枠卒業医師は、岡山県の職員として「地域勤務」を行うのですか？

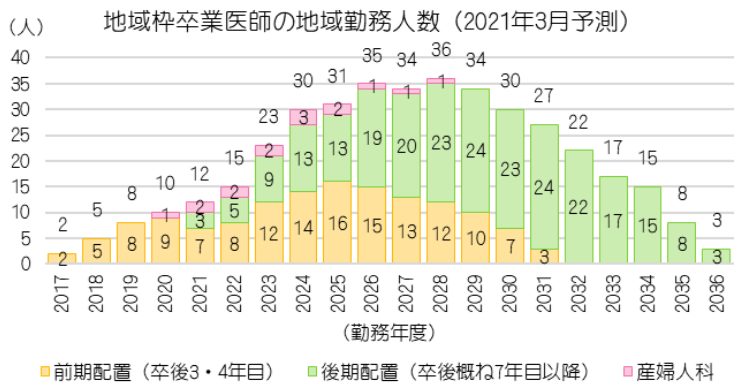
Ａ：地域枠卒業医師は、岡山県の職員ではありません。それぞれの医療機関が採用した職員として勤務します。

Ｑ１１：「地域勤務」は５年間同じ医療機関で行いますか？

Ａ：同じ病院で勤務するのは、２年間または３年間になります。ただし、キャリアプランによっては「地域勤務」を１年間行った後に「選択研修」に入るということも考えられます。毎年９月、地域枠卒業医師に翌年度の進路希望（地域勤務 or 選択研修 or 義務の中断）を確認しており、勤務先にも次年度の希望を伝えていただいています。

Ｑ１２：「地域勤務」をする地域枠卒業医師の今後の配置見通しは、どのようになっていますか？

Ａ：2021 年３月の時点では、下のグラフのように予測しています。2024 年から 2030 年まで 30 人以上の地域枠卒業医師が「地域勤務」をしています。



※ 2021 年度入学生までを反映しています。2022 年度以降の募集定員は未定です。